

### 南小で耐震化に向けた校舎改築始まる

8月21日、南小学校の校舎改築に伴う安全祈願祭が開催されました。学校や工事関係者ら約40人が参加し、工事の無事を祈りました。本工事は2か年計画で、今年管理棟、来年は2つの校舎を建設予定。南小の改築で、市内全21小中の耐震化が完了します。



### 中心市街地活性化のアンケート調査

8月23日、商工会議所青年部がコープ宮崎小林店で中心市街地に関するアンケートを行いました。「江南跡地の活用」や「小林駅周辺の整備」などを調査。北ノ菌裕一郎会長は「今後、中心市街地活性化のために活用していきたい」と話していました。



### 河川愛護で園児らうなぎ200匹放流

8月25日、小林地区大淀川水系河川愛護対策推進協議会合同河川パトロールがありました。河川愛護の活動の一環で中央保育所の園児が岩瀬川へうなぎ200匹を放流。同園の本村歩夢さんは「ぬるぬるしてつかみにくかったけど、上手に逃がせて楽しかった」と話していました。



### 福祉関係者ら運動会で交流深める

9月7日、あかつき福祉協会主催の第5回秋のスポーツ大会が行われました。同協会の会員らや、秀峰高校や手話関係者などのボランティアを含め約100人が参加。パン食い競争やカーリング式ゲートボールなどの競技を楽しみながら交流を深めていました。



### 県内最高齢 108歳 蔭山蓑枝さんをお祝い

9月15日の敬老の日、県内最高齢の蔭山蓑枝さんを祝うセレモニーが特別養護老人ホームひなもり園でありました。蔭山さんは1905（明治38）年11月5日、大阪市生まれ。92歳まで市内で現役で美容院を営んでいました。肥後市長から祝い状が渡されると、元気な笑顔で受け取りました。



記念撮影で手を振って応える蔭山さん。9月1日現在、市内には43人100歳以上の人がいらっしゃいます。皆さん、ずっとお元気で！

### 地元について学び郷土愛育む 市民大学講座が開講

9月16日、市民大学講座の開講式が中央公民館で行われました。この講座は、地元の産業や歴史などを学ぶことで地元の「宝」を知り、郷土愛を育むことが目的。25人が参加し、第1回は、元県庁職員の中馬章一さんを講師に招き、地元で充実した人生を過ごすための秘訣を学びました。



講演する中馬さん。来年2月までに、12回の講座を開講し、畜産や歴史、文化、観光、防災などを学んでいきます



左上) オープニングを務めたEcho。左下) 世界で活躍する池井さん。右) 観客参加型のステージで、会場を盛り上げた藤丸さん

### 市出身の音楽家らコンサート 第3回「わのしずく Fes.」

8月24日、市出身、在住の音楽家によるコンサート第3回「こばやしわのしずく Fes.」が文化会館で開催されました。ピアノ・フルートのトリオ Echo（エコー）、クラシックピアニスト池井博美さん、サクソ奏者藤丸和彦さんが登場。3者3様の演奏を披露し、故郷に錦を飾りました。



同協議会の前田博俊会長は「雨が多く心配だったが、糖度が高く出来は上々。多くの人に食べてもらいたい」と話していました

### 梨とぶどうの品評会開催 糖度高く出来は上々

9月1日、小林市果樹農業振興推進対策協議会とJAこばやし梨ぶどう生産部会の品評会が開かれました。【以下結果・優等と金賞のみ・敬称略】◆豊水の部▼協議会…永迫賢治▼JA…西ノ村純一◆ニューピオーネ▼協議会…永迫周一▼JA…永迫周一◆シャインマスカット…前田博俊

### チョウザメなど市の魅力PR ANA総研と連携協定を締結

8月22日、全日空グループの調査研究機関「ANA総合研究所」と地域活性化に関する協働連携協定を締結しました。同社からの人材派遣や都市部でのイベント開催など、連携して市のPRに取り組みます。調印式で長瀬眞社長は「目に見える成果を上げていきたい」とあいさつしました。



調印式にて、肥後市長と長瀬社長。同社は、これまでに全国7自治体と協定を結んでおり、県内では小林市が初めてとなります

### 駅前通りで土曜夜市開催 食を求め多くの人訪れる

8月30日、土曜夜市が駅前通りで開催されました。主催は、商店街を盛り上げようと集まった若者中心の土曜夜市実行委員会。会場では、屋台村やお店を巡って食べ比べる「BAR」やビアガーデンを開催しました。また、約300食のチョウザメ冷やし中華の振る舞いも行われました。



人で賑わう駅前通り。会場では、歌やダンスのステージイベント、子ども向けのミニゲームやストライダー教室なども行われました